

楽しく楽しく

2019 もせうし夏まつり

かんぱい



上 会場を盛り上げたバンド長谷津JAPAN
下 お米の品種当てクイズ



北国の短い夏を十二分に満喫しようと、今年もまちの一大イベント「2019もせうし夏まつり」が開催されました。朝から好天に恵まれ絶好の祭り日和となった8月4日、総合体育館前の町民まつり特設会場には、町内外から1500人ほどの人々が集まり、夏空のもとバーベキューを味わいながらヨサコイ演舞や歌謡ショーなどで、おもしろく楽しい一日を過ごしました。

家族で過ごす 団らんのひととき

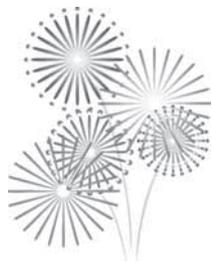
もせうし夏まつりの楽しみはやはり会場に設置された七輪で楽しむバーベキュー。お肉や魚介類を食べながら会話を弾ませ、楽しいひと時を過ごす皆さんで会場はにぎわいました。

妹背牛町出身で現在は赤平市に在住。子どもたちの夏休みの時期に合わせて帰郷されていた入澤理絵さん（写真左）から話を伺いました。

「もせうし夏まつりは帰郷した時にタイミングが合えばいつも来ています。今年は数年ぶりなのですが、変わらず活気ある雰囲気懐かしかったです」

妹背牛町で生まれ育った「もせうし」にとって、もせうし夏まつりは故郷を懐かしみ、この地域に育ててもらった日々を思い出させてくれる場になっているようです。





まちのひろばに人つどい おい なっぞらに



上 妹背牛中学校吹奏楽部による演奏
下 農協青年部焼き鳥

上 ゲストの彩川さくらさん
下 妻神工業ボールすくい

上 抽選会一等の自転車
下 子ども獅子舞の手踊り

例年、子どもたちに大盛況のミニSL。今年も行列ができ、途切れることなく運行が続きました。テントには「もせうし夏まつり会場駅」と書かれた看板が設置され列車好きの子どもたちも大興奮の様子。受付では乗車券が手渡され、そこに書かれた数字があたりならば一回、はずれでも5枚で一回お菓子のつかみ取りができます。なかにはSLを楽しむためか、はたまたお菓子を狙ってか、何度も繰り返し列に並ぶ子もいました。



今年も大人気のミニSL



小さな手を大きく広げて：

今年も大盛況のミニSL

成功の影には裏方の活躍が

人気のミニSL。子どもたちの笑顔の陰には担当者がありました。今年ミニSLの担当が初めてとなる石川美幸さん。

「SLはもちろん、待っている間も楽しんでもらえるよう準備を頑張りました。当日、たくさんの子どもの笑顔が見れてよかったです」

今年もたくさんの方々が楽しんだ夏まつりは、こういった裏方によって成功を収めることができました。



飲酒運転 特殊詐欺をノックアウト K.O!!

「飲酒運転」「特殊詐欺」と書かれたミットをパンチしてもらい根絶を呼びかけるキャンペーンがおこなわれました。これは妹背牛駐在所が企画したもので、夏休みに入り元気いっぱい



の子もたちが力いっぱいミットを打ちました。

夏の夜を彩る 個性豊かな盆踊り



もせうし豊年盆踊り大会

上 農協青年部の「TT兄弟」仮装盆踊り
下 もせうしこがね太鼓による演奏

新十津川から参加のアラビアンナイト

台風から変わった低気圧の接近により開催が心配されていた「豊年盆踊り大会」ですが、8月10日、幸いにも開始時間直前に雨が弱まり、行なうことができました。日程の延期もあり、昨年を超える参加者とはいきませんでしたが、浴衣やこの日のために用意した仮装を身にまといたくさんの方が盆踊りを楽しみました。

今年の団体賞1位は…

今年の団体賞1位に輝いたのは「農協女性部」でした。お笑い芸人の「メイプル超合金」に仮装し出場。盆踊り大会をコミカルに彩ってくれました。

「今年はどうな仮装がいいかみんなで話し合い決めました。受賞できたことだけでも嬉しいです」

様々な仮装を見ることも楽しい豊年盆踊り大会。来年はどんな仮装が見られるでしょうか。



日本で過ごす最後の夏



ホクレン包材に勤務する、ベトナム人技能実習生5名も盆踊りに参加しました。このうち4名は来年3月でベトナムへ帰ってしまうため、日本で過ごす最後の夏。「浴衣を着て盆踊りをしたい」と会場を訪れました。

鮮やかな浴衣に身を包んだみなさんは最初は他の参加者の踊りを見よう見まねでしたが、途中からはすっかり慣れた様子で踊っていました。

初めて来た浴衣や、盆踊りに「浴衣を着るのが難しかった。でも、綺麗。着られて嬉しい。みんなで踊るのは楽しかった」と話し、妹背牛町での思い出として「日本の夏」を存分に楽しみました。